

京築のヒノキと暮らすプロジェクト

学生の企画 本格化へ

京築地方のヒノキなどを
使い、若者が好む家具造り
の企画を担当する西南女学
院大(小倉北区)と西日本

工業大(刈田町)の学生ら
約20人が21日夜、小倉北区
内で会議を開き、事業名を
「京築のヒノキと暮らすプ
ロジェクト」と決めた。今
後、定期的に会議を開き、
企画が進みます。

企画は、京築2市5町で
つくる「京築地区森林・林
業推進協議会」の事業で、
若者や女性の視点を木工製
品の生産に生かし、林業再
生を図ることが目的。市場
調査は西南女学院大、調査
結果を受けた製品デザイン
は西日本工業大の学生がそ
れぞれ担当する。
プロジェクト名は両大生
が案を持ち寄り決定。全国

ブランドの京築ヒノキを
生活に取り入れる事業に
したいとの思いが込められ
た。
会議では、西南女学院大
の高橋幸夫准教授のゼミ生

らが11、12日に福岡市植物
園(同市中央区)であった
イベント「ウッドフェスタ
2015福岡」で、木製品
の購入先など5項目のアン
ケートを実施し、122人
から得た調査結果を報告。
このうち「どんな木製品を
購入したいか」の問いでは、
ダイニングテーブルやい

す、子ども用のおもちゃ、
本棚が上位を占めたことが
分かった。
同協議会事務局の県行橋
農林事務所林業振興課(行
橋市)の佐藤庸一普及係長
は「学生の自主的な活動で
事業を軌道に乗せてほし
い」と話している。

(佐伯浩之)